

一 目 統 計

(3町消防事務受託分含む)

消 防 予 算 3,456,434,000円(市予算3.8%)

一 般 会 計 総 予 算 90,990,000,000円

消 防 職 員 定 数 292人

市 職 員 定 数 3,139人

人 口 (委託3町含む) 326,565人

人 口 の 最 も 多 い 地 区 (四日市市) 四郷地区 25,957人

人 口 の 少 な い 地 区 (四日市市) 水沢地区 3,539人

消 防 車 両 等 (四日市市)

(常備)	は し ご 自 動 車	2台
	屈折はしご自動車	1台
	化学消防自動車	3台
	水槽付ポンプ自動車	6台
	消防ポンプ自動車	4台
	消防ポンプ付給水車	1台
	高所放水車	2台
	泡原液搬送車	2台
	救助工作車	2台
	高規格救急自動車	5台
	救急自動車	6台
	その他車両	35台
	消防艇	1隻
(非常備)	消防ポンプ自動車	23台

参 考 (受託3町非常備)

(楠町)	消防ポンプ自動車	6台
	可搬指揮ポンプ積載車	1台

(朝日町)	消防ポンプ自動車	2台
	可搬指揮ポンプ積載車	4台

(川越町)	消防ポンプ自動車	1台
	化学消防自動車	1台
	可搬指揮ポンプ積載車	10台

平成14年度・15年度消防費歳出予算 (当初額) (千円)

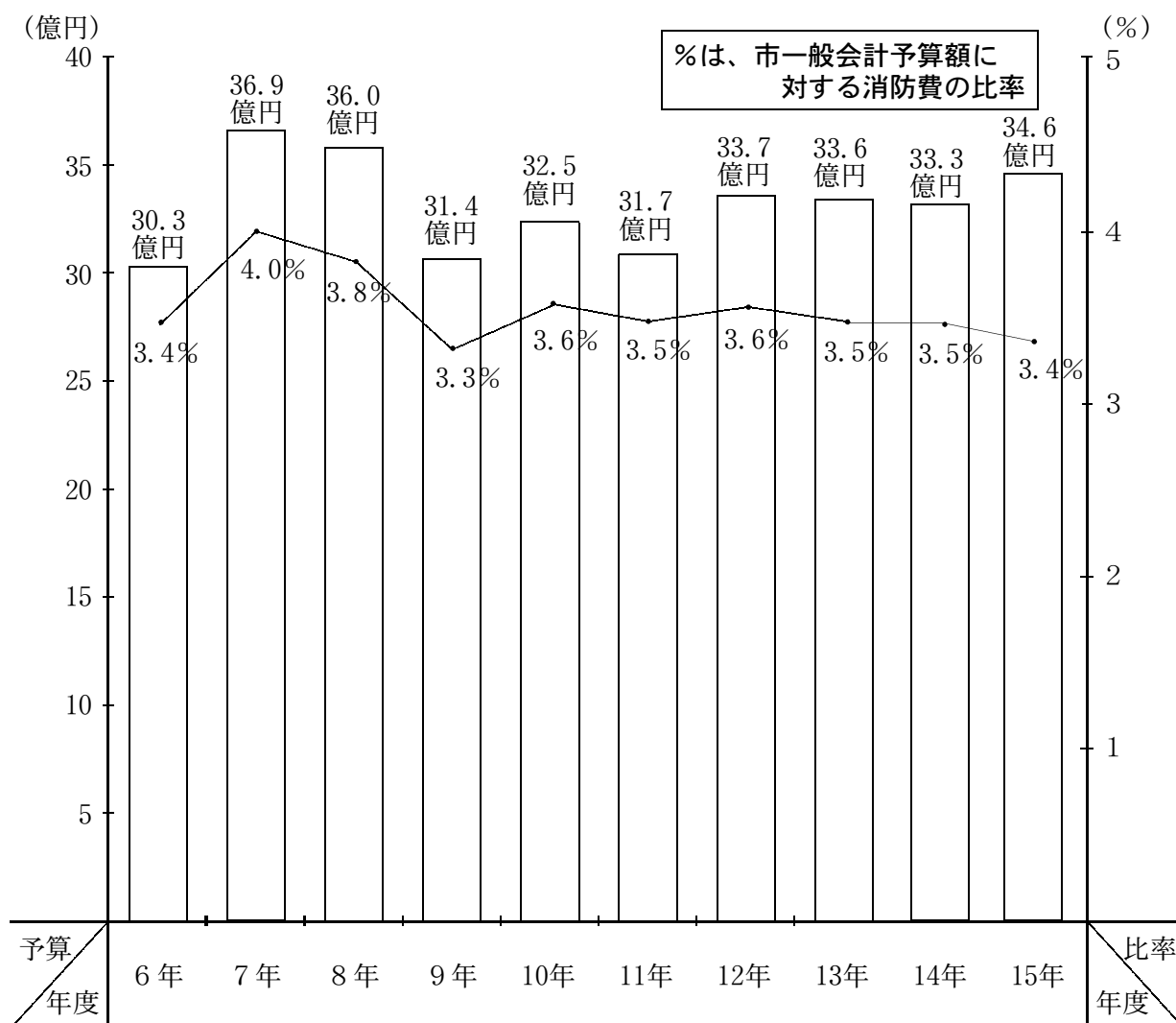
款 項 目	節	平成 14 年度	平成 15 年度	比較増△減
消 防 費		3,327,639	3,456,434	128,795
消 防 費		3,327,639	3,456,434	0
常 備 消 防 費		3,051,081	3,025,793	128,795
				0
				△25,288
	給職員手料	1,282,944	1,261,837	0
	共濟費	1,159,973	1,152,872	△7,101
	賃報償	319,683	320,539	856
	旅交際	6,561	6,380	△181
	需役委	20,830	16,823	△4,007
	使用料及び賃借料	4,711	5,330	619
	工事請負	200	160	△40
	原備品購入	100,819	92,299	△8,520
	負担金補助及び交付金	14,837	14,015	△822
	補償補填及び賠償	73,147	75,056	1,909
	公課	23,523	25,666	2,143
			800	800
			455	455
		2,059	2,959	900
		20,993	20,583	△410
		20,801	30,001	9,200
			18	18
非 常 備 消 防 費		101,454	97,871	0
				△3,583
	報共災報旅交	12,453	12,453	0
	濟補償	812	812	0
	害補償	2,100	2,100	0
	旅交際	8,920	8,920	0
	需役委	42,593	44,493	1,900
	使用料及び賃借料	150	100	△50
	工事請負	15,753	11,158	△4,595
	原備品購入	30	15	△15
	負担金補助及び交付金	1,063	1,089	26
	補償補填及び賠償	1,012	800	△212
	公課	1,281	644	△637
		15,286	15,286	0
		1	1	0
消 防 施 設 費		169,499	327,939	0
				158,440
	需役委	2,230	1,860	△370
	使用料及び賃借料	367	0	△367
	工事請負	2,183	1,335	△848
	原備品購入	2,180	0	△2,180
	負担金補助及び交付金	71,100	41,150	△29,950
		569	0	△569
		90,870	283,459	192,589
		0	135	135
水 防 費		5,605	4,831	0
				△774
	報旅需委	0	0	0
	工原備	55	49	△6
	事材請負	1,927	1,851	△76
	原備品購入	391	300	△91
	負担金補助及び交付金	200	300	100
		1,800	1,100	△700
		650	650	0
		582	581	△1

消防費に対する人口世帯当たり額

	消防費(千円)	人 口(人)	世 帯	1人当り額(円)	1世帯当り額(円)
平成11年度	2,838,626	291,953	104,651	9,723	27,125
平成12年度	3,041,047	292,833	106,170	10,385	28,643
平成13年度	3,035,681	294,249	107,695	10,317	28,188
平成14年度	3,000,104	295,419	109,424	10,155	27,417
平成15年度	3,120,740	296,563	111,045	10,523	28,103

※三重郡朝日町、川越町、楠町の消防事務受託関係を除く。

過去10年間の消防費の推移



消防職員の推移

(平成15年4月1日現在)

年 度 別	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	
定 員	292	292	292	292	292	
実 員	消防吏員	292	292	292	291	292
	その他の職員	0	0	0	0	0
	合 計	292	292	291	291	292
消防職員定員増減	-1	0	0	0	0	

消防職員特殊技能資格取得状況

(平成15年4月1日現在)

資格種別		階級別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自動車免許	免 許	大 型	177		2	4	18	47	68		38
		けん引	7					4	2		1
		大型特殊	9					6	1		2
自動車整備士			6				1	1	2		2
海 技 士 (航 海)			4		1			2	1		
海 技 士 (機 関)			2				1	1			
小型船舶操縦士1級			28		1		4	12	9		2
小型船舶操縦士4級			31				6	13	7		5
小型移動式クレーン			164		2	1	18	51	46		46
玉 掛 資 格			242		2	3	25	59	73		80
ガ ス 溶 接 資 格			208			1	15	47	67		78
無線技士	第2級海上特殊無線技士		16		1		3	9	2		1
	レーダー級海上特殊無線技士		10		1		1	4	3		1
	第2級陸上特殊無線技士		233		1	4	24	50	74		80
救 急	救 急 I 課 程		123		2	7	26	27	34		27
	救急II課程(標準課程含む)		135				6	35	42		52
	救 急 救 命 士		22				3	7	7		5
応 急 手 当 指 導 員			276		2	7	35	69	80		83
衛 生 管 理 者			15			1	10	3	1		
第2種酸素欠乏危険作業主任			34				8	21	5		
潜 水 士			12						3		9

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成15年4月1日現在)

所 属 別		階 級 別	合 計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合 計			292(11)〈5〉	1	6	7	35	68(2)	83(1)〈1〉		92(8)〈4〉	
消 防 本 部	消 防 長		1	1								
	次 長		2		2							
	総 務 課	小 計		38(11)〈1〉		1	2	5	14(2)	5(1)		11(8)〈1〉
		課 長		1		1						
		課 長 補 佐		1			1					
		総 務 課 付		11(11)					2(2)	1(1)		8(8)
		総 務 係		5				1	2	1		1
		装 備 係		3〈1〉					1	1		1〈1〉
		情 報 指 令 室		17			1	3	9	3		1
	消 防 救 急 課	小 計		11			1	3	3	3		1
		課 長		1			1					
		課 長 補 佐		1				1				
		課 付		1				1				
		警 防 係		4				1	1	2		
		地 域 安 全 係		4					2	1		1
		防 災 教 育 セ ン タ ー										
	予 防 保 安 課	小 計		⑥								
		所 長		①								
		所 員		⑤								
		小 計		14〈1〉			1	4	4	4		1〈1〉
		課 長		1			1					
		課 長 補 佐		1				1				
		防 火 対 象 物 違 反 是 正 担 当		1				1				
予 防 係		3						2	1			
保 安 係		5				1	1		3			
安 全 指 導 係		3〈1〉				1	1			1〈1〉		
消 防 署	中 消 防 署	小 計		108〈3〉		1	2	9	22	36〈1〉	38〈2〉	
		計		61〈3〉		1		6	12	18〈1〉	24〈2〉	
		署 長		1		1						
		副 署 長		1				1				
		指 導 係		5				1	1	1		2
	防 署	消 防 係		42				3	9	13		17
		救 急 係		12〈3〉				1	2	4〈1〉		5〈2〉
		計		41			1	2	9	15		14
		分 署 長		1			1					
		副 分 署 長		1				1				
	港 分 署	分 署 係		39				1	9	15		14
		計		6			1	1	1	3		
		分 署 長		1			1					
		分 署 員		5				1	1	3		
		計		68		1	1	8	15	21		22
	北 消 防 署	小 計		49		1		6	10	14		18
		計				1						
署 長		1		1								
副 署 長		1				1						
指 導 係		4				1	1	1		1		
消 防 係		34				3	6	8		17		
救 急 係		9				1	3	5				
計		19			1	2	5	7		4		
朝 川 分 署												
分 署 長		1			1							
南 消 防 署	指 導 係		2				1		1			
	消 防 係		16				1	5	6		4	
	小 計		50		1		6	10	14		19	
	署 長		1		1							
	副 署 長		1				1					
指 導 係		4				1		2		1		
消 防 係		35				3	6	10		16		
救 急 係		9				1	4	2		2		
市 長 部 局 へ 出 向			1			1						

() は派遣職員及び消防学校入校予定職員、〈 〉 は女性消防吏員をそれぞれ内数で表し〔 〕 は兼務である
○数字は職員数

消防職員年令別分布

(平成15年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合計	292	1	6	7	35	68	83	0	92
18	0								
19	0								
20	1								1
21	1								1
22	4								4
23	5								5
24	6								6
25	3								3
26	11								11
27	11								11
28	8						1		7
29	7						1		6
30	9						5		4
31	12						5		7
32	12						6		6
33	8					1	2		5
34	11						4		7
35	12					1	6		5
36	4						3		1
37	5					2	3		
38	8					6	1		1
39	5					1	4		
40	3					1	1		1
41	8					5	3		
42	8				2	4	2		
43	2						2		
44	9				4	4	1		
45	5				2	2	1		
46	13				4	3	6		
47	4				2	1	1		
48	8				1	3	4		
49	6			1	1	1	3		
50	5				1	3	1		
51	5					2	3		
52	5				1	2	2		
53	6				3	2	1		
54	17			1	6	8	2		
55	15		1	2	4	5	3		
56	10			2	2	3	3		
57	2				1	1			
58	10		1	1	1	5	2		
59	7		4			2	1		
60	1	1							
61	0								

平均年令 40.7歳

消防職員勤続年数別分布

(平成15年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合計	292	1	6	7	35	68	83	0	92
0～1	9	1							8
1～2	10		1						9
2～3	8								8
3～4	7								7
4～5	4								4
5～6	15						1		14
6～7	5						1		4
7～8	11						1		10
8～9	7						7		
9～10	6						2		4
10～11	12						4		8
11～12	27					2	13		12
12～13	5						3		2
13～14	4					1	2		1
14～15	3						3		
15～16	0								
16～17	8					3	4		1
17～18	2					1	1		
18～19	0								
19～20	3				1	2			
20～21	7				2	3	2		
21～22	11				2	6	3		
22～23	10				1	6	3		
23～24	14				3	5	6		
24～25	8				4	3	1		
25～26	4						4		
26～27	5				3	1	1		
27～28	7				2	2	3		
28～29	4				1	2	1		
29～30	0								
30～31	3				1	1	1		
31～32	4			2		2			
32～33	9				1	3	5		
33～34	14				4	7	3		
34～35	6			1		3	2		
35～36	7				3	3	1		
36～37	9			1	3	3	2		
37～38	5		1	1	2	1			
38～39	6		1	1	1	2	1		
39～40	7		1	1	1	3	1		
40～41	6		2			3	1		
41～42	0								

平均勤続年数 18.6年

消防車両配置状況

(平成15年4月1日現在)

所属別	区分	合計	消 防 車									救急車		その他の車両										艇
			はしご自動車	屈折はしご自動車	化学消防自動車	水槽付ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	消防ポンプ付給水車	高所放水車	泡原液搬送車	救助工作車	高規格救急自動車	救急自動車	指揮車	広報車	立入検査車	乗用車	防災広報車	泡原液運送車	水難救助車	マイクロバス	軽四トラック	その他	
合計		70	2	1	3	6	4	1	2	2	2	5	6	1	16	3	2	1	1	1	3	5	2	1
消防本部		16				1							1	6	1	2	1	1		3				
中消防署		14	1		1	1	1	1	1	1	1	2		2								1		
西分署		5			2						1			1								1		
港分署		3												1					1					1
北消防署		10		1	1	1				1	1			2	1							1		
北西救急分駐所		1									1													
朝日川越分署		4			1						1			1								1		
南消防署		14	1		1	1	1		1	1	2	1		3	1							1		
西南救急分駐所		1									1													
防災教育センター		2																						2

消防用資機材配置状況

(平成15年4月1日現在)

区分	所属	合計	消防本部	中消防署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署
呼 吸 器		140	4	41	15	4	24	17	35
エンジンカッター		9		3	1		2	1	2
高 発 泡 器		6		2			2		2
可搬式放水銃		12		5	1		2	1	3
耐 熱 服		15		6			3		6
引 火 測 定 器		5	5						
ガ ス 測 定 器		17	4	3	1		3	1	5
各 種 測 定 器		35	23	7			2	2	1
救 命 ボ ー ト		4		2			1		1
油 圧 切 断 機		6		2			2		2
チェ ー ソ ー		5		1			1	1	2
ポ ー ト パ ワ ー		4		1			2		1
救 命 索 発 射 銃		6		1	1	1	1	1	1
ガ ス 溶 断 器		6		2			2	1	1
発 動 発 電 機		26	2	10	1	1	2	2	8
排 送 風 機		7		2	1		1	1	2
エ ア ー ソ ー		5		2			1		2
救 助 幕		7		3			2		2
油 圧 ス プ レ ッ タ ー		7		3			3		1
マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ		4		2			1		1
削 岩 機		3		1			1		1
耐 電 衣		4		2			2		
防 毒 衣		11		9			2		
マンホール救助器具		2		1			1		
高度救助用資機材									
画像探索機Ⅰ型		1		1					
画像探索機Ⅱ型		1		1					
熱画像直視装置		1		1					
地中音響探知機		1		1					
夜間用暗視装置		1		1					
エアラインマスク		1		1					
オイルフェンス		1		1					
潜水器具		9				9			
高圧空気充てん機		2		1		1			

職員研修実施状況

(平成14年度中)

派遣研修

派遣先	研修科目	研修期間	受講者数	
消防大学校	幹部研修科	10月1日～12月10日	1	
	緊急消防援助講習	11月7日～11月19日	1	
名古屋市消防局	防災部防災指令課	10月1日～10月29日	3	
救急救命士養成所	救急救命九州研修所 救命士養成課程	4月7日～9月25日	1	
	名古屋市救急救命士養成所 "	9月18日～3月24日	1	
市町村アカデミー	人事管理	6月5日～6月14日	1	
	災害に強い地域づくり	2月13日～2月20日	1	
三重県消防学校	初任科	4月8日～10月24日	9	
	救急標準課程	10月25日～12月20日	8	
	救助科水難救助課程	5月13日～5月24日	3	
	特別科梯子自動車講習	10月1日～10月4日	3	
	救助科救助課程	10月30日～11月29日	3	
	予防科予防課程	12月2日～12月13日	3	
	初級幹部科	1月14日～1月31日	4	
	救急科救急Ⅱ課程	2月4日～2月27日	10	
	特別科体育指導員課程	3月3日～3月7日	1	
	警防科警防課程	3月3日～3月14日	3	
	市職員研修所	新任課長級職員研修(前期)	4月19日、25日、26日	3
新任課長級職員研修(後期)		11月7日、8日	2	
新任係長級職員研修		4月17日～11月8日	8	
新任課長補佐級職員研修		5月29日、7月2日	4	
パソコン研修(word2002初級)		7月5日～7月23日	13	
パソコン研修(excel2002初級)		9月3日～9月20日	22	
IT推進員研修(word応用)		7月24日～8月7日	18	
パソコン研修(word応用)		2月4日～2月24日	17	
IT推進員研修(excel応用)		10月17日～10月28日	16	
パソコン研修(excel応用)		2月25日～3月17日	10	
パソコン研修(access初級)		2月6日～2月21日	6	
特別研修(燃料電池)		8月27日	1	
その他の機関		大型自動車運転免許	5月29日～取得まで	5
	潜水士免許	7月16日	3	
	1級小型船舶操縦士免許	5月3日～5月6日	1	
	第2級海上特殊無線技師免許	6月24日～6月26日	1	
	海技免状失効講習	8月24日	3	
	第2種酸素欠乏危険作業主任者技能講習	12月11日～12月13日	3	
	小型移動式クレーン運転技能講習	11月7日～11月9日	2	
	"	2月6日～2月10日	3	
	救急コ・メディカルセミナー	9月12日～9月13日	8	
	日本救急医学会東海地方会 総会	11月23日	4	
	" 学術集会	2月22日	4	
	全国救急隊員シンポジウム(横浜)	1月30日～1月31日	1	
	消防実務講習会(火災調査研究発表会)	2月13日	4	
	" (予防広報講習会)	2月14日	2	
	救急救命士就業前研修(名古屋)	5月2日	2	
	救急隊員看護科研修(前期)	4月11日～7月11日	6	
	" (後期)	10月11日～11月8日	4	
	"	11月12日～12月3日	3	
	火災調査基礎講座(アイリス名古屋)	6月26日～6月27日	4	
	消防実務講座(危機管理講習会)	2月2日	2	
	包括的指示下除細動講習会(クレオ大阪)	2月18日	3	
	危険物取扱者保安講習	7月25日	2	
	情報公開制度及び個人情報保護制度に関する実務研修会	2月6日	1	
	消防本部研修	救急救命士就業前病院研修	4月1日～4月30日	2
		"	10月7日～11月5日	1
		救急標準課程修了後病院研修	12月24日～12月25日	9
		救急Ⅱ課程修了後病院研修	2月28日～3月3日	10
		昇任者研修	3月25日	13

平成 14 年度主要記録

年月	主 　　な 　　記 　　事	そ の 他 の 記 事
H14 4月 5月 6月 7月	<p>4/8・初任科生入校　　於：県消防学校 第39期生9人が入校。12月20日卒業。</p> <p>4/5・消防広場 「2002takara桜まつり」開催 宝酒造(株)楠工場内において消防広場 を開催。</p> <p>4/28・消防広場 「笹川ふれあい春まつり」開催 笹川東公園において消防広場を開催。</p> <p>5/23・市民防災隊総会</p> <p>5/23・防火協会総会</p> <p>5/26・笹川地区連合自治会防災訓練 笹川西公園において笹川地区防災訓 練実施。</p> <p>5月中・各署で水防研修</p> <p>6/1～30 ・危険物安全管理強調月間 月間中にコンビナート事業所を対象 に本部で「防災診断」及び立入検査 を各署で危険物保有事業所等を対象 に立入検査及び消防訓練の実施。</p> <p>6/10～13 ・化学消火薬剤放射訓練 三点セットによる泡放射訓練の実施。</p> <p>6/20・21・24 ・防火管理講習会開催 甲種防火管理講習152名・乙種防火管 理講習35名が受講。</p> <p>6/26・優良危険物事業所表彰 平成14年度優良危険物事業所の6事 業所を消防長表彰。</p> <p>7/2・消防艇遠距離航海訓練 海上の広域災害に備え、伊勢湾内全域 (平水区域内)の航海訓練を実施。</p> <p>7/3・消防安全衛生委員会安全講演 「現場活動における安全管理」 名古屋市消防局　加藤良雄氏</p>	<p>4/12・第25回三重県消防職員意見発表会 於：久居市</p> <p>4/18・全国消防長会 　　東海支部消防職員意見発表会 於：亀山市</p> <p>5/15・県内高速道路消防連絡協議会 於：津市</p> <p>5/17・県消防通信担当ブロック代表者会議 於：津市</p> <p>6/28・尼崎市総合防災訓練 北消防署救助隊が参加　於：尼崎市</p> <p>7/12・三重県消防救助技術指導会 県消防学校で5種目に出場し4チー ムが東海大会に出場。</p>

年月	主 な 記 事	そ の 他 の 記 事
7月	<p>7/21・第39回消防団操法大会開催 於：市民公園 23分団が出場し順位 第1位神前分団、第2位常磐分団、 第3位富洲原分団。</p> <p>7/22・藤島助役研修会 於：防災センター</p>	<p>7/27・三重県消防団消防操法大会 於：消防学校 塩浜分団が出場し、第3位に入賞。</p>
8月	<p>8/28・指揮車（第51号）消防救急課に配置</p>	<p>8/1・第31回消防救助技術東海地区指導会 於：名古屋市消防学校</p> <p>8/4・港まつり 於：四日市港霞埠頭 消防艇「あさかぜ」による放水ショー。</p> <p>8/18・四日市花火大会特別警備</p>
9月	<p>9/1・市民総ぐるみ防災訓練 於：中川原東洋紡グラウンド 主会場を東洋紡グラウンドで、地元住 民約2000人のほか、車両40台、防災 ヘリ1機、災害救助犬2頭等が参加 し情報伝達、広報、交通対策、火災 防御訓練等を実施。</p> <p>8/25～9/8 ・各地区の自治会等で地区訓練を実施。</p> <p>9/11・救急講演会 於：消防本部防災センター 「惨事ストレスについて」</p> <p>9/29.30 ・市民防災隊視察研修 於：神戸市及び尼崎市</p> <p>9/29・四日市市南消防署 西南救急分駐所開所式</p>	<p>9/7・三重県緊急消防援助隊野営訓練 於：亀山市</p> <p>9/8・三重県緊急消防援助隊合同訓練 於：鈴鹿市</p> <p>9/12.13 ・救急コ・メディカル 於：名古屋市</p>
10月	<p>10/1・四日市市南消防署西南救急分駐所 運用開始 救急車（救急第10号車）配置</p> <p>10/1. 2 ・防火管理講習会 甲種防火管理講習107名、乙種防火管 理講習13名が受講。</p>	<p>10/16・17 ・緊急消防援助隊 中部ブロック合同訓練 於：富山県高岡市</p>

年月	主 な 記 事	そ の 他 の 記 事
11月	<p>10/29～11/15</p> <p>・雑居ビル特別査察 平成13年9月東京都新宿区歌舞伎町で発生した雑居ビル火災と同種形態の防火対象物に対し、消防本部・中消防署及び建築指導課合同で特別査察を実施。</p> <p>11/3・消防ふれあい広場 於：川越町役場</p> <p>11/3・防災フェスタ イン キタ 於：北消防署</p> <p>11/8・特別消防訓練 ジャスコ四日市北店で実施。</p> <p>11/9～15</p> <p>・秋の火災予防運動 住民一人ひとりに対して火災予防思想の普及を図るため管内一円において、立入検査、予防広報、消防訓練、イベント等実施。</p> <p>11/9・防火ポスター・防火習字の特選者の表彰及び庁舎の一般公開 管内の園児及び児童を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、特選者の表彰式を実施。住民に消防本部・中消防署庁舎の一般公開をした。</p> <p>11/24・自主防災組織リーダー研修会 於：県四日市庁舎</p>	<p>11/20.21</p> <p>・緊急消防援助隊 近畿ブロック合同訓練 於：徳島県</p>
12月	<p>12/10・防火管理講習 乙種防火管理講習13名が受講。</p>	
H15	<p>12/28～31</p> <p>・年末特別警戒実施</p>	
1月	<p>1/12・平成15年消防出初式 四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため陸海空合同で実施。</p> <p>総出場人員 1047人 総出場車両 52 車両 総出場船艇 2隻 4艇 防災ヘリコプター 1</p>	

年月	主 な 記 事	そ の 他 の 記 事
2月	<p>1/24・出初式写真コンテスト 特別賞 4点、優秀賞 6点を表彰し賞状と記念品を贈る。</p> <p>1/24・ポンプ車（第2号車）北消防署に配置</p> <p>1/26・第49回文化財防火運動 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため管内一円で消防訓練や立入検査等を実施。</p> <p>2/5・タンク車（第14号車）西分署に配置</p> <p>2/6～7 ・防火管理講習 甲種防火管理講習125名、乙種防火管理講習21名が受講</p> <p>2/23・内部分団車庫竣工式</p> <p>2/24・消防ふれあい広場 於：朝日スーパーセンター</p>	<p>2/3・高速道路問題研究会 於：三重県消防学校</p>
3月	<p>3/1～7 ・春の火災予防運動 火災予防思想の普及を図るため管内一円において、立入検査、消防訓練等を実施。なお海上保安部と合同で船舶の立入検査も併せて実施。</p> <p>3/1～7 ・出初式写真コンテスト展示 ジャスコ四日市北店で実施。</p> <p>3/2・特別消防訓練実施 春の火災予防運動の一環として山林火災を想定した訓練を水沢町で実施。</p> <p>3/11.12.20 ・警防救助技術発表会 中高層建築物火災を想定して、各署中隊ごとの警防、救助活動を発表。</p>	<p>3/11・高速自動車道消防相互応援協定書締結</p> <p>3/16・伊勢湾岸自動車道総合消防訓練 三重県、愛知県高速道路消防連絡協議会主催による車両多重事故及び毒劇物車両事故に係る合同訓練が伊勢湾岸朝日 I C 一帯で実施。(参加人員162人)</p> <p>3/21・伊勢湾岸自動車道みえ川越 I C と東名阪自動車道間が四日市ジャンクションを経て開通した。</p>

平成15年度消防重点事業

1. 大規模災害対策事業

近い将来、発生が予想される東海地震など大規模災害に対して、緊急消防援助隊が有事に際して機能できるように、県内あるいは県域を越えた合同訓練の継続を始め、自治会単位の自主防災隊の結成及び自主防災隊が有効に機能するよう、訓練指導を推進する。

また、耐震性防火水槽の計画設置、既存防火水槽の簡易耐震化、自然水利が有効に活用できる資機材の整備等を図り、災害対応能力向上を推進する。

2. 消防装備整備事業

消防車両・救急車両の老朽化による更新及び空気呼吸器などの消防活動用資機材の近代化などを促進し、消防活動能力の向上を図る。

また、水難救助隊を充足させるにあたり、港分署に水難救助活動拠点を整備するとともに、港湾沿岸部及び湖沼・河川などの水難事故、更には地震の津波による引き込みなどに対応し得るための水難救助機材等を整備し、隊員の養成を行い水辺の事故に対応する。

3. 消防・救急活動維持高度化事業

消防・救急・救助などの各種災害活動が迅速かつ的確に行えるよう、消防施設・装備の維持管理に努めるほか、急増する救急活動・救急業務に対し、適切な応急処置が行えるよう、救急救命士及び救急隊員の養成・研修など計画的に進めるとともに、医療機関との連携を図り、救急隊の行う応急手当の質を向上させるなど、救急業務の高度化を図る。

また、病院到着前の応急手当の有無によって、救命率に大きな影響を与えることから、市民及び企業などの各種団体に対して応急手当の普及啓発を推進する。

4. 火災予防対策整備事業

新宿雑居ビル火災を契機とした法改正について、立ち入り検査を実施して対象となる防火対象物の調査を行うとともに、改正事項である点検報告制度などの周知徹底を図り、消防法違反の是正を推進する。

相互応援協定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめようとするため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

(1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成10年7月1日 締結	四日市市長以下県内69市町村長、7消防組合管理者及び三重県知事

(2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶に関する業務協定	昭和38年5月24日 締結 昭和46年5月24日 締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部 (注) 従前の協定を全廃し、締結したもの

(3) 高速道路における消防応援協定

	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
高速自動車国道近畿自動車道 名古屋・関線及び 名古屋・神戸線消防相互 応援協定	平成15年3月11日 締結	四日市市・桑名市・鈴鹿市・亀山市 長島町・木曾岬町・朝日町・川越町